

# ここふる学校 かい「こ」育て 解説編 ②

## カイコの体と一生

### 1. カイコの体

カイコは幼虫から<sup>さなぎ</sup>蛹を通して<sup>が</sup>蛾になる完全変態の昆虫です。ここではカイコの体をみてみます。

#### ●幼虫

卵からかえった幼虫は4回脱皮したあと蛹になります。幼虫の間は基本的に桑の葉しか食べません。

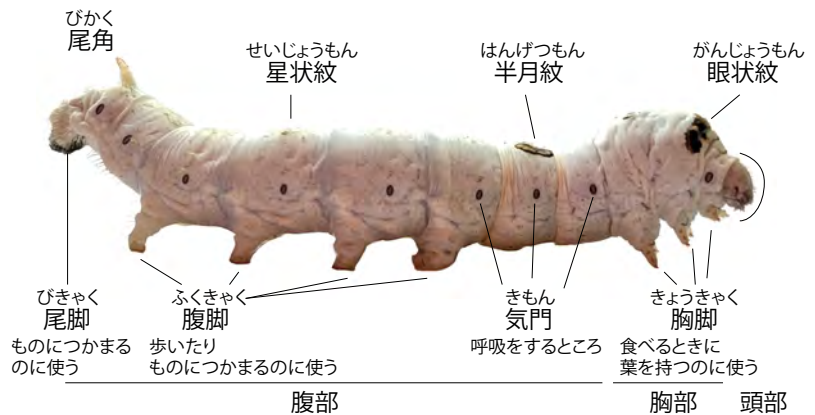
写真は5齢幼虫で、お尻にあるツノ（尾角）は何のためにあるのかよくわかりません。

#### ●蛹

蛹になるともう蛾の形ができています。蛹の期間は2週間ほどです。初めは白っぽく、羽化が近づくとつれ色が濃くなっていきます。

#### ●成虫

成虫は立派な触角と白くてフワフワの毛を持つ蛾になります。オスは触角でフェロモンを感じ、メスを探します。羽化した後は何も食べず、死ぬまで水も飲みません。



頭部 胸部 腹部

## 2. カイコの一生

カイコの一生は卵から50日～60日ほどといわれています。幼虫の間に4回脱皮し、脱皮の前1日ほどは「眠」といって頭を上げて眠ったように動かなくなります。5齢幼虫になると、一生のうちの9割の桑の葉を食べるといわれるほど食欲が旺盛になり、体重は生まれた時の一万倍にもなります。

やがて体が透き通って黄色みがかってくると、いよいよ繭を作り始めます。頭を左右に振って足場を作り、2～3日かけて繭を作り上げます。さらに数日すると繭の中で脱皮して蛹になり、体を作り変えます。2週間ほどで羽化したカイコは、口から出す酵素で繭を溶かして外に出てきます。羽化するとすぐに交尾をし、卵を産むと2週間ほどで一生涯を終えます。メスのカイコが生む卵の数はおよそ500個にもなり、次世代に命をつなぎます。

